

C文化g

~流れくる文化、交差する舞武舞^{まぶい}~



プログラム

【第1セッション】

琉舞、空手、現代ダンス“Nerves” by スルジツ（インド・マニプール出身）

【第2セッション】

チットチャット with スルジツ（質疑応答、通訳付き）

開催日: 2014年3月30日(日)

開場時間: 14:30 開演時間: 15:00~

場所: 社会福祉法人ピースクラブ

住所: 大阪市浪速区大国 1-11-1

Tel: 06-6647-2077, Fax: 06-6647-2087

参加費: 1,000円(資料代含む)

主催: 関西沖縄文庫

連絡先: 〒551-0011 大阪府大阪市大正区小林東3丁目13-20

Tel: 06-6552-6709



出演者紹介

スルジット・ノンメイカパム

職業：ダンス活動セラピスト、出身地：インド、マニプール州

スルジット（ニックネーム：ボンボン）は、北東インドにおける現代ダンス界の若い世代の中で振付師、独演ダンサーとして活躍している。また、ナティアインスティテュートでカタックダンスならびにコンテンポラリーダンスの学士号を有し、バンガロールのナティア・ステム・ダンスカンパニーとナティア・マヤで現代ならびに伝統舞踊のダンサーとして活躍している。

スルジットは、カタックダンス、カラリパヤッツダンス、マニプリダンス、コンテンポラリーダンス、タング・タ・マーシャルアーツを学び、その他にもさまざまなスタイルをその分野の第一人者から学んでいる。また、国内外のイベントに多く出演し、2013年にはスイスやベルギーで開催されたイベントに出演している。そのほかにも、ダンスフィルム「Black Pot and Movement」に出演した、また、同フィルムは2013年第8回 International Festival of Moving Image Art（インド）の短編にノミネートされた。

また、スルジットは、振付師兼指導者として活躍するだけではなく、2010年にコルカタでダンスセラピストの技術を取得し、ダンスセラピストとしてトラウマを抱えた人々へのヒーリングを行っている。

マニプール州ってどんなところ???

マニプール州は、北東インドにある7つの州のうちの1つで、ミャンマーの国境線に位置し、州都は日英が第二次世界大戦に戦った場所として知られるインパールです。面積は、22,327 km²でインドの総面積の約0.7%で、人口は約2,570,390人（2011年統計）でインドの総人口の約0.22%になります。マニプール州には、メイティ族、ナガ族、クキ族など多くの民族がいます。主要言語は、マニプリ語です。民族が多いため、文化も多様です。また、ミャンマーの国境線に位置していることもあり、伝統文化に加えてインドの文化のみならず東南アジアの文化も混在しています。また、マニプールの女性は、伝統的に高い地位を保持しており、女性の様々な権利が保障され、発言権もあります。

もともと、マニプール州は王国でしたが、英国が現在のインド方面へ勢力を拡大したことで、英国の支配下に入り、1891年に藩王国として成立し、1947年までの間カングラパック王国として存在していました。しかし、マニプール州は1956年にインドの連邦直轄領となり、また1972年にムハマド・アリムディンを初代州首相(1972年-1974年)として迎え、インド連邦の州となりました。

このインドへの併合によって、マニプール州にはさまざまな問題が起こっています。まず、国境に接する地域のため、マニプール州には軍事特別法（AFSPA）によって強大な権限を与えられた上に免責特権も付与されたインドの国軍が、50年以上にわたって膨大な数の重大な人権侵害を行っています。そのため、マニプール州の人々は日常的に恐怖に晒されており、人々が抱えるトラウマは深刻な問題となっています。次に、マニプール州を含む北東インドは、多くの天然資源に恵まれた地域ですが、インド本国等の資本の参入によって、その資源が本国の利益になるよう使用され「犠牲のシステム」が生まれています。そのため、マニプール州をはじめとする北東インドの地域の貧困問題も深刻な状況となっています。

タイトルの Calling には、天職、使命という意味があります。本イベントの出演者を通して、国家によって犠牲となる人々の存在価値を考えていけたらと思います。